

様式第五十の二(第 48 条第 6 項関係)

認定事業適応計画の(中間)実施状況の概要の公表

1. 認定の日付
2023 年 10 月 3 日
2. 認定事業適応事業者の名称
株式会社だいこんの花
3. 認定事業適応計画の実施期間
2023 年 10 月～2025 年 3 月

4. 認定事業適応計画の実施状況

(1) 事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

本計画では、近年の気候変動問題への対応を成長の機会と捉え、企業としての価値を高めるべく、非化石エネルギーである温泉廃熱を利用してCO₂を減少させていくことで付加価値の創出（エシカル層開拓・理解浸透による顧客単価増及び経費削減）と環境への負荷低減を両立させることとしている。

この計画のうち、令和 5 年度においては、温泉廃熱利用システムを導入完了し試験運用するとともに、SDGs に取り組む温泉宿としてエシカル層に働きかける情報発信を行い、売上増と経費削減による付加価値向上に取り組んだ。営業損失の主な要因としては大規模修繕によるものだが、人件費の増加等及び炭素排出量の大幅減によって炭素生産性の数値目標は達成している。

(2) 生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

令和 5 年度（令和 6 年 3 月決算期）においては、炭素生産性向上割合が対前年比で 18.2%向上している。これは、本事業適応計画の認定前に実施した省エネ事業の効果と 2023 年 12 月からの試験運用により重油使用量が予想以上に減少したことが大きな要因である。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

財務内容の健全性の向上指標については、令和 5 年度（令和 6 年 3 月決算期）は、経常利益が 15,321 千円となり、経常収支比率は 108.2%である。

(4) 実施した事業適応計画の内容

令和 5 年度においては、補助金 17,190 千円と自己資金 17,191 千円により、事業適応計画の認定申請書に記載した廃熱利用システムを全て取得した。